

## 藤村トヨの発行した雑誌記事 索引データベースについて

本学の実質的な創設者である藤村トヨの残した雑誌は日本の女子体育研究にとって貴重な文献です。この度、学園史資料整理の一環として雑誌記事を整理して図書館内のパソコン(OPAC)から検索できるようになりましたのでお知らせします。それらの作業は平成28年度学内ワークスタディ事業で募集した学生により実施されました。検索方法は図書館入口の卒業研究検索用パソコンを利用ください。以下に、藤村学園100年のあゆみ(藤村学園創立百周年記念記録等作成実行委員会、2002)を参考に、雑誌の概要を紹介いたします。ご活用ください。

### 1.「婦人と体育」

大正13年3月、藤村トヨは日本女子体育協会の結成を呼びかけ、自ら会長となって本部を東京女子体音楽学校内に置き、日本女性の体育奨励、体育研究、体育向上の三つを目的として、全国に一般女子会員を募った。「婦人と体育」はその機関誌である。藤村会長の病臥などがあり、本誌は9月に3号を出して終わった。

### 2.「健康の女性」

日本女子体育協会を健康の女性会と改称、雑誌も「健康の女性」と改名、大正15年2月2巻2号から昭和5年7月7巻まで続いた。読者対象を卒業生以外の体育研究家や女子教育担当者にも求め、専門的でレベルの高いものであった。

### 3.「女性美」

昭和4年11月から、健康の女性会で発行。「健康の女性」が専門的に対し、これは一般向けの雑誌であった。昭和12年1月、「女子体育」と改称するまで9巻刊行された。



### 4.「女性体育」

昭和6年2月から8年8月まで3巻8号刊行。藤村トヨが日本女性体育研究会を創立し、その機関誌として発行。全国の女子体育専門家が先頭に立ち、一般婦人と相協力して日本女性の健康について研究しようという企図であった。

### 5.「女子体育」

昭和11年末、トヨは還暦を記念して藤村女子体育研究会を設立、講演会、競技会、発表会などを催し活動することを宣言。これまでの機関誌「女性美」は優美に過ぎるとして「女子体育」と改称。これは昭和16年第二次世界大戦前のきびしい経済統制まで5巻刊行された。

詳細は図書館事務室まで

## 平成30年度開館カレンダー

|            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 9:00~13:00 | 9:00~14:00 | 9:00~16:00 | 9:00~17:00 |
| 9:00~19:00 | 9:00~20:00 | 終日閉館       | 未定         |

| 2018年 4月 |    |    |    |    |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| 1        | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8        | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15       | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22       | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29       | 30 |    |    |    |    |    |

| 2018年 5月 |    |    |    |    |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|          |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 6        | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
| 13       | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20       | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27       | 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |

| 2018年 6月 |    |    |    |    |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|          |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 3        | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10       | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17       | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24       | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

| 2018年 7月 |    |    |    |    |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| 1        | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8        | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15       | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22       | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29       | 30 | 31 |    |    |    |    |

| 2018年 8月 |    |    |    |    |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|          |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5        | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12       | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19       | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26       | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

| 2018年 9月 |    |    |    |    |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|          |    |    |    |    |    | 1  |
| 2        | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9        | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16       | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23       | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30       |    |    |    |    |    |    |

# LIVRE

## 3月の香りといえば！ 沈丁花で春の訪れをかんじよう。

3月の花といえば、代表的なのは沈丁花とタンポポがあげられます。

沈丁花はジンチョウゲ科に属する低木の樹木で、1年中濃い緑色の葉をつける常緑樹です。沈丁花は、2月末頃から3月にかけて花を咲かせます。

沈丁花の花に華やかさはなくひっそりと咲きますが、芳香が強いので、沈丁花の姿は見えなくても香りで近くに沈丁花があることを知らせてくれます。花の香りを楽しむということでは、秋の木犀と並び春の沈丁花は双壁をなすのではないのでしょうか。

沈丁花の花言葉は「栄光」「不死」「不滅」「永遠」。

花言葉の「不死」「不滅」「永遠」は、1年を通じて緑の葉をつける常緑植物であることにちなみます。「栄光」という花言葉は、月桂樹の花言葉と同じギリシャ神話のエピソードにちなんでつけられたといわれています。太陽神アポロンからの愛を受け止めきれなかった女神ダフネは、父親へお願いして月桂樹の木に姿を変えてもらいました。この話から、アポロンは月桂樹を自分の聖樹として崇め、その葉で作られた冠を愛の証として一生身につけていたといえます。その後、月桂樹の葉で作られた月桂冠は、優秀な者たちが冠ようになり、「栄光」といった花言葉がつけられました。沈丁花の香りで春の訪れを感じませんか。



沈丁花



月桂冠

# 『「幻のオリンピック」の夢にかけた男 ～日本近代スポーツの父・岸清一物語～』

この本では日本におけるボート競技の歴史だけではなく、日本漕艇協会（現日本ボート協会）初代会長、大日本体育協会（現日本体育協会）第2代会長、日本人としては嘉納治五郎氏に続き二人目の国際オリンピック委員会（IOC）委員を務めた、岸清一氏が昭和15年（1940年）の幻の東京オリンピック招致にまつわる、歴史の裏側に隠された内容が書かれています。

数々のエピソードや実際にあった出来事を読んでみると、岸氏や若槻氏をはじめ多くの方々の努力や熱い思いがあったからこそ、1964年の東京オリンピックが開催できたのではないかと思います。

また、文章だけでなくロサンゼルス市内アンバサダーホテルでの晩餐会で各国IOC委員夫妻とともに岸氏と嘉納氏が出席している写真や、ピエール・ド・クーベルタンのエピソードがあり、とてもわくわくしながら読むことができ歴史を感じることが出来ました。

ボート関係者だけでなく、東京オリンピックを楽しみにしている人にはぜひ読んでいただきたい一冊です。

新体操競技研究室 古城 梨早



◎「幻のオリンピック」の夢にかけた男～日本近代スポーツの父・岸清一物語～（古城 庸夫 著/春風社）

# 『ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」』



◎ラグビー日本代表を変えた「心の鍛え方」（荒木 香織 著/講談社）

東京オリンピック・パラリンピック開催の前年、2019年に4年に一度のラグビーのワールドカップ大会が日本で開催されます。

2015年の大会では、これまで過去7大会で1勝しかしていなかった日本代表が3勝を挙げるといふ快挙を成し遂げ、五郎丸選手の行う「お祈りポーズ」が大きな話題となりました。このポーズと一緒に考えて創り出したのが筆者です。

筆者は、日本代表チームのメンタルコーチを務め、選手たちの考え方の枠組みを心理的なアプローチで次々と変えていきました。「恐怖心を取り除くには？」「緊張や不安を覚えたときは？」「チームの士気を高めるには？」等について、メンタル面から個々のパフォーマンスを向上させました。これから、体育・スポーツ分野の指導者を目指す皆さんに一読をお勧めします。きっと皆さんの学習面や練習・試合での取り組み方が変化すると思います。

教職実践研究室 上原 健夫



# 『スポーツファシリティマネジメント』

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて国や東京都他による競技施設の新設・改修工事がすすんでおり、その一方で、「それらに関する経費が高すぎる」といった声や、「施設整備費は大会終了後の施設運営・経営のあり方によって回収することができる」といった声が聞こえてきます。

この本は、公共スポーツ施設を民間施設のように「経営する」という立場で書かれた理論書であり、多くの学生の皆さんには少し専門的すぎる内容かも知れませんが、テレビや新聞等によるこれまでの報道や、今後の報道で見られるであろうスポーツ施設経営・運営における「指定管理者制度」や「コンセッション方式」等について説明をしています。全編を熟読する必要はありませんが、こうした制度や方式を理解しておくことは、競技結果とは異なる2020年大会の一つの見方、レガシーの考え方の参考になると思いますので一読をお勧めします。

体育管理研究室 中村 平



◎「スポーツファシリティマネジメント」（原田 宗彦・岡野 義之 編著/大修館書店）

## 本学関係・寄贈図書 平成28年10月～平成30年2月まで受入分

| No. | 寄贈者   | 書名                                             | 著者名・監修  | 出版者(年)      |
|-----|-------|------------------------------------------------|---------|-------------|
| 1   | 若山章信  | ダイナミックな身体運動における筋腱複合体の役割<br>肘屈曲における負荷重量と予備緊張の影響 | 若山章信[著] | [若山章信] 2005 |
| 2   | 本村清人  | 「知・徳・体」を育む<br>学校体育・スポーツの力                      | 本村清人著   | 大修館書店 2016  |
| 3   | 秋山エリカ | どうだっけ？                                         | 秋山エリカ著  | 文芸社 2017    |
| 4   | 笹生心太  | ボウリングの社会学<br>「スポーツ」と「レジャー」の狭間で                 | 笹生心太著   | 青弓社 2017    |

# 『下町ロケット』



◎「下町ロケット」（池井戸 潤 著/小学館）

皆さん、夢は持っていますか？この本は、ロケットの打ち上げ失敗の責任を押し付けられ宇宙科学開発機構を去ったエンジンの開発者・佃航平が「自分の手でロケット開発がしたい」という夢を諦められないまま父親の中小企業「佃製作所」を継ぎ、大手企業やライバル会社からの反感・逆風に立ち向かいながらロケットエンジンの研究開発を続けていく、という物語です。

どんな苦境にも負けずに夢を追いかけ続ける佃航平と、そんな佃を心から信じ支え続けた佃製作所の社員たちの姿にとっても感動し、譲れない軸をぶれずにもつということはいかにこれまでに人を強くさせるのか、と感じさせられました。夢を持つことの大切さや仕事に対する誠実な姿勢、芯を持って仲間を信じること…当たり前のようで当たり前じゃない、いい意味での人間らしさが描かれていて今の生き方を見つめなおすきっかけにもなりました。とても読みやすい一冊なので、是非読んでみてください。

体育学部3年 佐々木 春海

# 『空に住む～Living in your sky』

この本は、人気作詞家が描く「喪失」と「再生」の物語です。読み始めるとぐんぐんとその世界に引き込まれていき、不思議な気持ちになりました。

両親の突然の死、主人公にとっては何にも代えがたい大切な愛猫の死を自分なりに必死で乗り越えようとする場面では、主人公の純粋でまっすぐな気持ちに共感し、切ない気持ちと主人公のそばで温かく見守る人間模様が感動的でした。

主人公のありのままを受け入れ見守る周りの人たちの距離感もすごく良く、人のさりげない優しさや思いやりが温かく伝わってくる小説です。この本には著者が作詞した主題歌もついており、本を読み終えた後に聴くと自然と涙が出てきます。

人は失うものがあっても立ち直らなければならない、たくさんのやさしさに支えられていると思わせてくれる1冊です。ぜひ皆さん手に取って読んでみてください。

体育学部2年 酒井 梨々華



◎「空に住む～Living in your sky.」（小竹 正人 著/講談社）